

平成23年度 宇都宮市立城山中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

基本目標 「健康で、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成」
 目指す児童像 ○進んで勉強する子ども（かしこく）
 ○思いやりのある子ども ○喜んで働く子ども（なかよく）
 ○健康で明るい子ども（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「人間尊重の教育」を基調とし、豊かな心を持ち、知・徳・体の調和のとれた、たくましい人間の育成を図る。
 <児童にとって> ○学びのある学校 ○仲間のいる学校 ○楽しい学校
 <保護者・地域にとって> ○安心して子どもを通わせることができる学校

3 学校経営の方針（中期的視点）

- 1 城山中央小学校の歴史と伝統を踏まえ、長年にわたって築いた教育の精神や校風を継承し、その向上と発展に努める。
- 2 学校経営の中核に確かな学力の定着・向上を位置づけ、校内研修を推進し、基礎基本の確実な定着を図る。
- 3 家庭・地域社会との連携に努めるとともに、社会の多様な要請に応じることができるような、地域に根ざした開かれた学校づくりに努める。
- 4 豊かな心、たくましい体をもった子どもの育成に努める。
- 5 教育公務員としての使命を自覚し、和と協働の精神を大切にして、専門職にふさわしい資質の向上を目指す。

4 今年度の重点目標（短期的視点）

（学校運営）

学力向上と豊かな心の育成を目指して、協調と協働の学校運営を推進する
 ～みんなが笑顔、城山中央小学校～

（児童生徒指導）

思いやりの心を持ち、物事を正しく判断し、主体的な行動ができる児童の育成
 ～児童と児童、児童と教師のコミュニケーションをより深めることを通して～

（健康・体力）

自分の体に関心を持ち、進んで健康の保持増進と体力の向上に励む児童の育成
 ～教科体育や体育的行事の充実と、児童が体を動かしたくなる体育的環境の整備～

（学習指導）

適切に課題を設定し、自力で解決したり、友達と意見交換して考えを深めたりする能力の育成

5 自己評価（Aは共通評価指標、Bは学校独自評価指標）

（評価指標の〔全〕は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評 価								
教育全体の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 適正な学校運営に努める。 ・創意と調和のある「子どもを生かす」教育の実践 ・学校評価を生かした保護者、地域と一体化した学校づくりの推進 ② 児童・保護者・教師・地域の想いを把握し、学校運営に生かす。 ・学校運営推進委員会の設置	B	A 1 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>93.3%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>94.4%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>86.6%↓</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100%→</td></tr></table> 【次年度の方針】 児童の肯定的な回答が昨年度を3%上回り、93%を超えた。児童・保護者・教師・地域の想いを学校運営に反映させている成果が表れてきている。今後もさらに推進したい。	児童	93.3%↑	保護者	94.4%↑	地域住民	86.6%↓	教職員	100%→
	児童	93.3%↑										
保護者	94.4%↑											
地域住民	86.6%↓											
教職員	100%→											

A2	教職員は、組織の一員として誠実に熱心に教育に当たっている。〔全〕	① 教職員の資質と能力の向上に努める。 ・教育に対する理念、使命感、豊かな人間性、教育実践力、動向を察知した対応力等の向上 ・「報告・連絡・相談」の徹底 ・学年交換授業や教科担任制の推進 ・教師一人一人の授業力の向上	B	A2 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>99.3%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>94.9%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>86.6%↓</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100%→</td></tr></table> 【次年度の方針】 児童の肯定的な回答が100%に近づいてきた。個々の児童に対してきめ細やかな指導を行ってきた成果が表れてきた。しかし、保護者・地域住民の肯定的評価が少し下がっているの、学校の取組を発信する必要がある。	児童	99.3%↑	保護者	94.9%↓	地域住民	86.6%↓	教職員	100%→		
	児童				99.3%↑									
	保護者				94.9%↓									
	地域住民				86.6%↓									
	教職員				100%→									
	【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 全体アンケートの「教職員は、あいさつや応対が丁寧で誠実である」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上				① 基本的生活習慣と規範意識の育成 ・生命や人権尊重を題材とした授業（道徳・学級活動等）の実施 ・「城央小のよい子」や「かがやく城央っ子」を活用した、統一的・継続的な指導	A3 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>89.5%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>87.6%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>80.0%↓</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100%↑</td></tr></table> 【次年度の方針】 児童の肯定的な回答は昨年度より上がった。生活目標に対する共通理解や「かがやく城央っ子」の実施を工夫しながら継続的に実施する。また、生活目標の内容や振り返りの仕方、保護者への広報活動の工夫改善を図る。	児童	89.5%↑	保護者	87.6%↓	地域住民	80.0%↓	教職員	100%↑
	児童				89.5%↑									
	保護者				87.6%↓									
	地域住民				80.0%↓									
	教職員				100%↑									
A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕	② 家庭・地域、関係諸機関との連携 ・学年便り、学校便り等で発信	B	A4 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>97.5%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>81.1%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>80.0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100%→</td></tr></table> 【次年度の方針】 児童の肯定的な回答が昨年度を6%上回り、学習指導の工夫・改善が着実に効果をあげている。分かる授業・決め細やかな指導について、さらに充実を図る。	児童	97.5%↑	保護者	81.1%↑	地域住民	80.0%↑	教職員	100%→			
児童	97.5%↑													
保護者	81.1%↑													
地域住民	80.0%↑													
教職員	100%→													
【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 学習指導の工夫・改善を図る。 ・指導技術の確立と授業時数の確保 ・習熟度別学習や少人数指導・TT指導等の効果的实施 ・学習内容度調査などの活用 ・かがやきルームの有効活用及び指導体制の充実 ・授業力向上のための校内研修の充実	B	A5 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>93.0%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>92.2%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>93.3%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100%→</td></tr></table> 【次年度の方針】 児童・保護者の肯定的な回答が昨年度を上回った。児童が活躍し充実感を感じられる学校行事を目指して絶えず改善を図ってきたことの成果が表れてきた。次年度も、さらに児童が生き生きと活動できる学校行事を目指して改善・工夫に努めていく。	児童	93.0%↑	保護者	92.2%↑	地域住民	93.3%→	教職員	100%→			
児童	93.0%↑													
保護者	92.2%↑													
地域住民	93.3%→													
教職員	100%→													
A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕	②家庭・地域への広報活動の工夫													
【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① マネジメントサイクルを活用した特色ある教育課程の編成に努める。 ・「児童が生き生きと活動できたか」という視点からの学校行事等の反省・改善													
A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕														
【数値指標】 全体アンケートの「自分は、学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上														

学校運営の状況

A6

学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕

【数値指標】

全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答 80%⇒地域住民の肯定的回答 80%

A7

学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕

【数値指標】

全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者の肯定的回答 80%⇒地域住民の肯定的回答 80%

A8

校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕

【数値指標】

全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である」⇒保護者の肯定的回答 80%

A9

学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている〔全〕

【数値指標】

全体アンケートの「学校は、教職員が互いに指導力向上に取り組み、指導の工夫・改善に努めている」⇒教職員の肯定的回答 90%⇒保護者の肯定的回答 80%

①

保護者や地域に信頼される学校づくりに努める。

・学校の内外に開かれた学級、学校づくり

・うつのみやオープンスクール、授業参観、学校自由参観等の効果的な実施

・学校便り、ホームページなどによる積極的な情報発信

・保護者、地域の方との積極的なコミュニケーション

①

地域人材の協力や企業の専門性を生かした学習を推進する。

・「町の先生」の年間指導計画への位置づけ

・各育成会や地域行事への積極的な参加

・小中一貫教育を目指した活動への改善

・家庭・地域・企業等と連携した活動の広報活動の工夫・充実

①

まごころ広場や花壇、教材園を中心とした環境整備に努める。

・日常の清掃活動やまごころ清掃（校内や公園・通学路等）の工夫改善と充実

・児童と協働した環境整備の工夫

・教室環境の見直しと改善

②

PTA やボランティアを活用して環境整備に努める。

・トイレやオープンスペースの美化

・グリーンサポーターの活用

A6

【達成状況】

児童	
保護者	96.3%↑
地域住民	100%↑
教職員	100%→

【次年度の方針】

保護者・地域住民の肯定的な回答が 95%を越え、十分満足できる結果である。学校だより・学年だより・ホームページ・地域協議会だよりの更なる充実に努めるとともに、今後も積極的に情報を発信し、地域に信頼される学校づくりに努めたい。

A7

【達成状況】

児童	93.3%↓
保護者	93.5%↑
地域住民	93.3%→
教職員	100%→

【次年度の方針】

児童の肯定的な回答は昨年度を少し下回ったが、児童・保護者・地域住民の肯定的な回答は 90%を越えている。「町の先生」「企業」「福祉ボランティア」等、学校への支援をたくさんしていただくことができた。今後は、さらに保護者・地域への広報活動に努め、理解を得られるように工夫したい。

A8

【達成状況】

児童	93.7%↑
保護者	87.1%↑
地域住民	93.3%↑
教職員	90.9%↑

【次年度の方針】

児童・保護者・地域住民・教職員の肯定的な回答が、全て昨年度を上回り、清掃の仕方の工夫改善や教室環境の見直しを図ったことが効果を表してきた。しかし、保護者の肯定的な回答は、まだ 90%に達していないので、校内美化・環境整備の充実・工夫に努めていきたい。

A9

【達成状況】

児童	
保護者	79.8%↑
地域住民	
教職員	100%→

【次年度の方針】

全教職員が一人一授業を行い、指導力向上に努めてきたが、保護者の肯定的な回答がまだ不十分である。今後は組織的・計画的に一人一授業を実践し、学校公開や学校だより等を活用して広報活動に努める。

教育活動の状況	生活	A10 元気にあいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、あいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90% ⇒保護者の肯定的回答 80% ⇒地域住民の肯定的回答 80%	① 児童の創意を生かした「あいさつ運動」を推進する。 ・家庭及び地域協議会と連携した地域ぐるみの「あいさつ運動」の展開 ・「あいさつ運動」の内容・方法の工夫・改善（いつでも、どこでも、だれにでも） ・家庭と連携した「正しい言葉づかい」の推進	B	A10 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>92.3%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>72.9%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>93.3%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100%↑</td></tr></table> 【次年度の方針】 保護者の肯定的な回答ポイントが2%上がったが、まだ不十分である。正しい言葉づかいやあいさつの励行について、家庭への広報活動や協力のあり方の工夫・改善を図る。	児童	92.3%↑	保護者	72.9%↑	地域住民	93.3%→	教職員	100%↑
	児童	92.3%↑											
	保護者	72.9%↑											
	地域住民	93.3%→											
教職員	100%↑												
健康・体力	A11 毎日朝ごはんを食べ、好き嫌いのない食事をしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、好き嫌なく食べている」 ⇒児童の肯定的回答 80% ⇒保護者の肯定的回答 80%	① 食の指導や給食指導の充実 ・朝食をとっていない児童の実態把握と個別の指導 ・養護教諭、学校栄養士と連携した各教科や特別活動等における食育の実施 ・個別指導の資料作成 ・家庭と連携した食の指導 ・「もう一口食べよう」週間の実施 ②「すこやか教室」の実施 ・町の先生と連携した食育の指導	A	A11 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>75.1%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>80.7%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>63.6%↓</td></tr></table> 【次年度の方針】 児童・保護者・教職員の肯定的な回答が昨年度より下がった。町の先生と連携してすこやか教室を工夫改善したり、実態を把握した上で個別の指導を行ったりする。今後とも担任、養護教諭、栄養士、町の先生と連携を図った食育の指導を推進していく。	児童	75.1%↓	保護者	80.7%↓	地域住民		教職員	63.6%↓	
児童	75.1%↓												
保護者	80.7%↓												
地域住民													
教職員	63.6%↓												
	B1 休み時間には、進んで運動したり遊んだりしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している」 ⇒教職員の肯定的回答 90% ⇒児童の肯定的回答 90%	① 児童が進んで運動に取り組むことのできる体育的環境の整備と体を動かす遊びの日常化を図る。 ・竹馬や一輪車などの遊具の整備 ・まごころ広場の活用 ・「みんなで遊ぶ日」の工夫と外遊びの奨励	B	B1 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>92.6%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>98.6%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>86.6%↓</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100%→</td></tr></table> 【次年度の方針】 4者とも肯定的な回答ポイントが高い。今後も、体育的環境の整備や体を動かす遊びの日常化を図っていく。	児童	92.6%↑	保護者	98.6%↑	地域住民	86.6%↓	教職員	100%→	
児童	92.6%↑												
保護者	98.6%↑												
地域住民	86.6%↓												
教職員	100%→												
学習	A12 授業に熱心に取り組む、基本的な学習態度・技能が身に付いている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は進んで挙手し、大きな声で発表するなど、授業に対して積極的に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80% ⇒保護者の肯定的回答 80%	① 基礎・基本の確実な定着を図る。 ・少人数指導、習熟度別学習等の工夫 ・話の聞き方や発表の仕方など徹底 ・「城央小の学習のきまり」に基づいた基本的な学習態度の徹底 ②児童の学習意欲を高め、共に学びあう授業の展開を図る。 ・学習意欲を喚起する工夫 ・共に学びあう学習展開の工夫 ③家庭と連携して、学習習慣の確立を図る。 ・「家庭学習のしかた」「自主学習のガイド」に基づいた、発達段階に応じた宿題や自主学習の工夫	B	A12 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>85.6%→</td></tr><tr><td>保護者</td><td>83.4%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>86.6%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>90.9%↓</td></tr></table> 【次年度の方針】 保護者の肯定的な回答が3%上がった。児童の学習に対する取り組みは向上しているが、「城央小の学習のきまり」に基づいた基本的な学習態度の育成に継続的に取り組む。また、「家庭学習のしかた」「自主学習のガイド」に基づいた指導を発達段階に応じて継続的に実践していきたい。さらに、児童の学習意欲を高め、共に学びあう授業を目指して「学び合い」のあり方について実践研究を深める。	児童	85.6%→	保護者	83.4%↑	地域住民	86.6%→	教職員	90.9%↓	
児童	85.6%→												
保護者	83.4%↑												
地域住民	86.6%→												
教職員	90.9%↓												

	B2 進んで読書に取り組み、読書を楽しんでいる。 【数値指標】 一人当たりの1か月の読書量⇒9冊以上	① 読書活動の充実を図る。 ・全校一斉、教師と児童の朝の読書の徹底と図書室の活用 ・各学年推薦図書20冊選定 ・ボランティアによる読み聞かせの実施 ・月10冊以上に多読者賞の表彰 ・家庭と連携した家読の推進 ・図書室の整備など ・児童の読書と保護者を結びつける工夫	B2 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>81.8%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>77.9%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.4%↑</td></tr></table> 【次年度の方針】 B 児童の肯定的な回答が昨年度よりわずかに下がったが、児童一人当たりの1か月の読書は、11.3冊と目標を達成した。長期休業時に家庭と連携した家読を実施してきた効果が表れ、少しずつ保護者の肯定的な回答が上がってきているので、更に読書の習慣化を図っていききたい。	児童	81.8%↓	保護者	77.9%↑	地域住民		教職員	95.4%↑
児童	81.8%↓										
保護者	77.9%↑										
地域住民											
教職員	95.4%↑										
本校の特色・課題等	B3 学校は、保護者・地域住民との連携を図り、安全で安心な学校づくりに努めている。 【数値指標】 学校独自の評価 ⇒教職員の肯定的回答90% ⇒保護者の肯定的回答80% ⇒地域住民の肯定的回答80%	① 危機管理意識の高揚を図る。 ・定期的な登校・下校指導の実施 ・避難訓練、防犯教室の実施 ・スクールサポーター、防犯ボランティア「まごころサポーター」等との連携	B3 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>92.2%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100%→</td></tr></table> 【次年度の方針】 B 保護者の肯定的な回答ポイントがわずかに下がったものの、3者とも高い肯定的な回答である。今後も、保護者・防犯ボランティアの「まごころサポーター」等と連携した、安全で安心な学校づくりに努めていく。	児童		保護者	92.2%↓	地域住民	100%↑	教職員	100%→
児童											
保護者	92.2%↓										
地域住民	100%↑										
教職員	100%→										

〔総合的な評価〕

- 評価項目「教育全体の状況」のA1～A5の児童が回答する項目は、肯定的な回答が全て90%を越え、児童は、意欲的に楽しく学校生活を過ごし、充実感を感じることができていると思われる。しかし、児童が肯定的な評価を回答している項目でも、保護者の肯定的な評価が必ずしも高くない項目については、次年度の課題として効果的な具体策を教職員全員で考え、改善を図っていききたい。
- 「教育全体の状況」に関わる項目のA4「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」についての保護者の肯定的な評価が81%と、他の項目と比べると少し低い結果であった。同様に、「学校運営の状況」に関わる項目のA9「学校は、教職員が互いに指導力向上に取り組み、指導の工夫・改善に努めている」についても、保護者の肯定的な評価が80%と十分とは言えない結果であった。今後、「分かる授業・きめ細かな指導」に努め、教員一人一人の授業力の向上と指導体制・指導形態の工夫改善に取り組み、その成果を具体的に保護者に伝える工夫をしていきたい。
- 「教育活動の状況」に関する項目のA10「あいさつ・言葉遣い」の保護者の肯定的な回答が72.9%と不十分な結果だったので、あいさつと正しい言葉遣いの習慣化を図ることができるよう、学校・家庭・地域が連携協力して取り組んでいきたい。また、A11「毎日朝ごはんを食べ、好き嫌いのない食事をしている」についての肯定的な評価は、児童・保護者・教職員ともに下がり、次年度は食育を推進するばかりでなく、個別の指導にも力を入れたい。
- 「教育活動の状況」に関する項目のB2「進んで読書に取り組み、読書を楽しんでいる」についての保護者の肯定的な評価は、78%で前年度を上回ったがまだ十分とは言えないので、さらに家庭と連携して読書の習慣化を図っていききたい。

6 学校関係者評価

- 登下校時のあいさつは、班長が大きな声であいさつできる班はよくできているので、班長への指導をすると今以上にようになるだろう。また、保護者の評価が低いので家庭内でのあいさつの励行と正しい言葉遣いの奨励を推進していくとよいだろう。また、来校者は、本校の児童が大変よくあいさつができると評価しているので、今後は校外でのあいさつの指導に力を入れるとよいだろう。
- 登下校時の児童の安全確保について、学校・保護者・地域が連携して協力できる方法を考え、本校の登下校時の安全ボランティア（まごころサポーター）の増員を図るとよいのではないかと。また、1・2年生が実施している「昔の遊び体験」時や3年生が実施している「昔の生活体験」時には、祖父母や地域の高齢者が大勢参加しているので、その際にまごころサポーター

の募集を行うのも一方法だろう。

- 本校の登下校時の安全ボランティア（まごころサポーター）の増員に限らず、今の学校が求めていることや地域に望んでいることが、地域の人たちに伝わっていないのではないかと。今の学校のニーズを地域に伝える工夫をするとよい。それが、学校と地域が密接につながることの第一歩になるのではないかと。
- 朝食を食べないで登校する児童に対しては、「早寝・早起き」を奨励して、朝食を食べる時間を確保できるように指導するとよい。好き嫌いの克服については、給食時に行っている「もう一口食べよう」の指導や食育の指導と家庭への啓発、個別指導を組み合わせるとよいだろう。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

- 地域に信頼され、地域の核となる学校づくりを推進するために、学校を取り巻く、児童・保護者・地域・教職員の想いを吸い上げ、それらを検討し、下記のような4つのプロジェクトを組織して、全職員が学校経営に参画できる工夫を行い、次年度の学校ビジョンに反映させる。

